

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

朝来市長 藤 岡 勇

市町村名 (市町村コード)	朝来市 (282251)	
地域名 (地域内農業集落名)	朝来市和田山町竹田地域 (筒江区)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月27日 (第4回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
 注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・高齢化が進み地区内農業者(60歳以上)が90%を占めている。
- ・主な作物は水稻が中心であり、黒大豆、岩津ねぎなどを栽培している。
- ・農地の管理委託が増加している。
- ・担い手、後継者不足である。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・今後も水稻を中心とした作付を継続していく。
- ・認定農業者等の担い手農業者と相談しながら作物及び栽培方法を確立していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	26.77 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	19.01 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

地域内の農地を今後も継続して管理することから、地区住民等が管理している農地を区域とした。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積、集約化を進め、農用地の最適化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理機構や制度の周知等を行い、活用に理解を深めていく。
(3)基盤整備事業への取組方針
中山間地の農地が多く、他地区との意見交換や行政の指導等を受けながら取り組んでいく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
後継者が少ないため、営農等への委託管理に依存している状態であるため、営農等へ農地集約し地区全体で後継者の確保、育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
必要になれば検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①鹿、イノシシの侵入防止柵の維持、管理を行う。
- ⑦地区及び担い手による地域内の保全管理を行う。